

ミシェル・フーコー『レーモン・ルーセル』研究会連続セミナー

ミシェル・フーコーは、1963年に出版された著作『レーモン・ルーセル』において、フランスの作家レーモン・ルーセル（1877-1933年）の特異な作品の読解に情熱を傾け、徹底した分析を行いました。『レーモン・ルーセル』はこれまでフーコーの著作群の中でも謎めいた位置を占めてきましたが、近年、1950年代から1960年代にかけてのフーコーの生前未公刊資料が出版される中、この著作が執筆された背景やその企図が次第に明確になりつつあります。本研究会では、フランス思想・哲学やフランス文学、精神医学・精神分析学といった多様な領域な専門家を招いて、ミシェル・フーコー『レーモン・ルーセル』に関する連続セミナーを実施し、この著作の思想的意義や哲学的射程について明らかにすることを目指します。

・発表予定者：市田良彦（神戸大学）、上田和彦（関西学院大学）、王寺賢太（東京大学）、久保田泰考（滋賀大学）、柵瀬宏平（白鷗大学）、清水雄大（獨協大学）、谷昌親（早稲田大学）、新島進（慶應義塾大学）、松本潤一郎（就実大学）、森元庸介（東京大学）

・開催方法：zoomによるオンライン開催

・開催日時

第1回：2025年3月29日（土）18時～21時

市田良彦（神戸大学）：「〈哲学者〉レーモン・ルーセル」

以下よりご登録ください：

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/1Gll7tISQsicDdeckUszcw>

第2回以降の予定：

第2回：2025年7月

久保田泰考（滋賀大学）：「…その空虚はルーセルにとっては、逆説的にも太陽なのだ」

柵瀬宏平（白鷗大学）：「ルーセル、現象学、存在論」

第3回：2025年9月

新島進（慶應義塾大学）：『レーモン・ルーセル』から考えるフーコーのヴェルヌ論」

森元庸介（東京大学）：「贗物そっくり 機械のなかの肉体」

第4回：2025年12月 清水雄大（獨協大学）、松本潤一郎（就実大学）

第5回：2026年3月 王寺賢太（東京大学）、上田和彦（関西学院大学）

第6回：2026年6月 谷昌親（早稲田大学）

主催：フーコー研究フォーラム、『レーモン・ルーセル』研究会